

住田地域診療センターの役割と機能

**【岩手県立病院等の経営計画（2019-2024）より】
地域医療構想区域（気仙構想区域）の現状・課題
【役割・特色、今後の方向性】**

- ・プライマリケア領域の外来機能を担う。
- ・医療・介護・福祉・行政との連携、協働により、地域包括ケアシステムの一翼を担う。

住田地域診療センターからの課題等のご提案

【課題等のご提案】

・地域包括ケアシステム

2025年（令和7年）を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進。

・ACP

～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」と呼びます。

・地域医療構想・医師少数区域（大船渡市、陸前高田市、住田町：厚生労働大臣指定） （工藤副地域診療センター長医師少数区域経験認定医師認定）

・医療政策

・岩手県保健医療計画（2024～2029）

・岩手県立病院等の経営計画

住田地域診療センターからの課題等のご提案

【課題等のご提案】

・かかりつけ医

【定義】なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要なときには専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師。

・プライマリーケア

「医師が、医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度・技能・知識）を身に付けることのできるものでなければならない。」

・総合診療医

総合的な診療能力を有する医師を「総合診療医」とする。

・訪問診療

・訪問看護

・オンライン診療